

小学校

教科【外国語活動】

単元【すきなものをつたえよう】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

自分の発表の様子を録画し、振り返ることを通して、相手に伝わるよう工夫するポイントを明確にしたり、確認したりすることで学びが深まる。

ICT活用のポイント

単語や自己紹介の方法について、必要に応じて確認するとともに、発表の様子を録画し、活動を振り返ったり繰り返したりすることで、自分の発表を客観的に振り返ることができる。

使用する
ICT機器

P C、タブレット、P J等

使用するアプリ・
クラウドサービス等

iPadのAirDrop・メモ、ロイロノート

クラウド
の活用
☐教材の配布・回収等
☒児童の学習状況の把握
 ☐資料等の共有
☐その他（ ）
本時の
ねらい

相手に伝わるように工夫しながら自分の好きなものを紹介しようとする。

主な学習活動
(学習場面)

I C Tの活用・留意点等

評価

導入

○挨拶、歌

一斉



文部科学省作成教師用デジタル教材を活用し、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。

指針2

○本時の内容を
確認する

前時までの学習内容を基に、自己紹介に向けて、見通しをもつ。

展開

○自己紹介シー
トを作成する

個別



iPadのメモ機能を活用し、児童一人一人が自分の好きなものや好きではないものについて絵や言葉で表し、自己紹介シートを作成する。

指針2



AirDrop機能を活用し、自己紹介の仕方を確認できるよう、教師が自己紹介シートに描いたイラストなどを示しながら自己紹介をしたモデル動画を共有する。



AirDrop機能を活用し、発問の仕方を確認できるよう、教師が発音と口元を撮影した動画を共有する。

○自分の好きな
ものを交えて
自己紹介をし
合う

協働



タブレットを用いて、各自が作成した自己紹介シートを示しながら発表する。

ここで評価



友だちが自己紹介している様子をグループ内で動画で撮影し合い、AirDrop機能を活用し、グループ内及び教師と共有する。

指針3



【思】相手に伝わるように工夫しながら自分の好きなものを紹介している。

ICT機器



終末

○本時の活動を
振り返る

個別



自己紹介に向けた取組と友だちの自己紹介を聞いて思ったことを振り返り、ロイロノートで提出する。

指針6



提出されたデータを教師が確認し、学習状況を把握する。

